

509

酵母 *Saccharomyces sinensis* の分類学的考察

(山梨大・工・物質生命) ○山崎豊彦、内藤牧子、飯村 稔

【目的】 *Sd. sinensis* IFO 10111<sup>T</sup> は、山田ら<sup>1)</sup> や Kurtzmanら<sup>2)</sup> の 18srRNA、26srDNA の部分塩基配列に基づき、*Nadsonia fulvescens var. elongata* のシノニムとして提案された。そこで、未だ未検討の 5.8s+ITS rDNA 領域の RFLP を、*Sd. ludwigii* IFO 0798<sup>T</sup> や *N. ful. var. elongata* IFO 0665 と比較した。

【方法と結果】 上記3菌株から簡易抽出(改変 Cai)法により採取したDNA試料を鋳型とし ITS1 および ITS4 をプライマーとした PCR 産物の RFLP を、電気泳動法により比較した。目的の 5.8s+ITS 領域のサイズは、*ludwigii* (760bp) と *sinensis* (720bp) ではほぼ同じであったが、*elongata* (550bp) は、より小さかった。制限酵素 *Hae*III では、3菌株共1本のバンドだけが現れた。しかし、*Hha*I では、*sinensis* が3箇所(4本のサイズの異なるバンド)で、また *ludwigii* と *elongata* は1箇所(各2本のバンド)で切断され、*Hinf*I では *sinensis* と *ludwigii* が1箇所(各2本のバンド)で、また *elongata* は2箇所(3本のバンド)で切断された。なお、供試3菌株の CHEF 電気泳動パターン並びに胞子形成過程の形態的特徴をも併せて、*Sd. sinensis* の分類学的再考察を行う。

1) Yamada, Y., Maeda, K., and Banno, I.: J. Gen. Appl. Microbiol., **38**, 585 (1992).

2) Kurtzman, C.P., and Robnett, C.J.: Antonie van Leeuwenhoek, **73**, 331 (1998).

Further taxonomic studies of *Saccharomyces sinensis* IFO 10111<sup>T</sup>

Toyohiko Yamazaki, Makiko Naito, and Yuzuru Iimura

(Dept. Appl. Chem. and Biotechnol., Yamanashi Univ.)

【Key Words】 *Saccharomyces sinensis*, RFLP, 5.8s+ITS region

510

タイ国より分離した *Citeromyces* 属耐塩性酵母の新種

(阪大・ICBiotech、\*Kasetsart Univ.、\*\*財) 発酵研)

○永塚由佳、川崎浩子、Limtong Savitree\*、見方洪三郎\*\*、関達治

【目的】自然界に生息する耐塩性酵母の多様性研究の過程において見いだされた、新規分類群に属する二株について分類学的帰属を明らかにすることを目的とした。

【方法と結果】耐塩性酵母 H130, H149 はタイ国の塩漬イカ乾物および味噌より分離した。18S rDNA に基づく分子系統解析の結果、H130, H149 は *Citeromyces matritensis* IFO 0954<sup>T</sup> と一つのクラスターを形成し、細胞及び子嚢胞子の形態は *C. matritensis* と類似していた。The Yeasts (第4版) に拠る生理・生化学的性状試験は、*C. matritensis* と異なり、分離株は L-Sorbose 資化性を示さず、Maltose 発酵性、L-Lysine 資化性、37°C における生育が認められた。ユビキノタイプは Q-8、G+C 含量は 44 mol% であった。ピオチン標識したプローブを用いたマイクロプレート法による DNA-DNA 相同性試験の結果、分離株は *C. matritensis* IFO 0954<sup>T</sup> と 10-23% と低い相同性を示した。以上の結果より分離株二株 H130, H149 は *Citeromyces* 属の新種であると考えられ、*Citeromyces siamensis* と命名した。耐塩性試験の結果、*C. siamensis* H130, H149 は *C. matritensis* IFO 0954<sup>T</sup> に比べ高イオン毒耐性能、および異なるポリオール生産性を示した。

Identification study of halotolerant yeasts isolated in Thailand

○Yuka Nagatsuka, Hiroko Kawasaki, Limtong Savitree\*, Kozaburo Mikata\*\*, Tatsuji Seki (Osaka Univ., \*Kasetsart Univ., \*\*IFO)

【Key Words】 *Citeromyces*, tropical yeast, halotolerance, polyol, cation toxicity